

土屋清 とやきよ 経済評論家。明治四十二年十月五日東京生れ。昭和六十二年二月二十一日歿（九〇一八七）。筆名上田達雄。昭和八年東京帝國大學経済學部卒。朝日新聞社入社、二十年論説委員。二十九年産業經濟新聞社に轉じ論説主幹、専務取締役。四十四年退社して評論活動。総合政策研究會・中東經濟研究所各理事長等を務めた。

著書 『日本經濟の基本動向』（昭和十八年四月）二十五年中央公論社）、  
『これからの日本經濟』（昭和二十一年十月）二十四日コングレス社）、  
『新聞』（昭和二十四年六月十五日弘文堂「アチネ文庫」）、『日本文化の見方』（合著、昭和二十六年九月）二十日社會思想研究會出版部  
『現代教養文庫』（）、『新聞の読み方』關する十の章（合著、昭和二十九年六月）二十五日中央公論社）、『現代經濟用語辞典』（編、昭和二十一年一月）二十日河出書房「河出新書」）、『恋愛と結婚』（合著・筒井勝一郎編、昭和二十二年一月）十日毎日新聞社「毎日ライブラリー」、『エユノミスト五十年』一言論人の足あと（昭和五十五年十月）二十日山手書房）等。

